

麻生津ネット

長い夏休みが終わりました。今年は、思いのほか猛暑で、40度を超える地域までありました。夏休み明けとはいえたまだ暑さは続くようです。学校再開初日には、見守り隊の皆さまが温かな見守りをしてくださり、子供たちが元気な顔を見せててくれて、学校に活気が戻ってきました。

さて、私は、夏休み明けの校内放送集会で、次のお話をしました(下線)。ご紹介します。

一つは、夏休み前に伝えた「自分の頑張りたいことにチャレンジしてほしい」という話から、私自身が、この夏、旬の野菜を使った料理づくりにチャレンジしたこと。きっかけは、麻生津小学校で収穫した大きな曲がったきゅうりが、やわらかくてとてもおいしく、家族も喜んだことからでした。旬の野菜(きゅうり・トマト・ゴーヤ・なす・オクラ等)を意識して考えながら食事づくりをすることは、家族の健康を守ることにもつながり楽しかったです。子供たちも、夏休み中に、いろいろなことに挑戦したのではないでしょか。アサガオの観察シートや自主学習の作品等が飾られているのを見ると、自分の思いをもつて、好きなこと、やってみたいことをテーマに掲げて、学習を進めているのが伝わり、素晴らしいと感じました。自主学習のテーマも、スポーツ・植物・生き物・身近な社会問題・食べ物、または、教科で学習したことから発展した課題など、多岐にわたっていました。自分で決めるところから、頭の中であれやこれやと考え、計画しまとめる過程が想像できます。自分で決めた探究の対象をゆっくりじっくり丁寧に見ることは探究を深める上で重要であり、将来に役立つ力です。生成AI時代において、五感を使って、非効率に見えても実際に試行錯誤する「人間の学び」は、価値があります。

もう一つは、「努力の壺」のお話です。これは、1学期の後半に向けて、学習のまとめや、体育大会などの大きな行事が控える中で、子供たちに「努力すること」について考えてほしいと思ったからです。「みんな違ってみんないい」という言葉がありますが、「なんで、あの子はすぐにできるのに、自分はできないんだろう」と思ってしまっていないでしょうか。「努力の壺」の大きさは、時には大きい物、時には小さい物、そして、人によっても大きさが違うそうです。続けることが大切です。努力が壺からあふれ出したとき、自分でも信じられないくらいの力がどんどんついていきます。6月に開催された市の「連合音楽会」に向かって練習に励む6年生の姿は、まさに「努力の壺」を体現してくれていました。

ご家庭でも、是非、このことについて話し合っていただき、頑張りを褒めていただけると、お子様のやる気につながっていくと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。私たち教職員も、子供たちの一人一人の頑張りを認め褒めながら、充実した1学期の後半を送ることができるよう、支えていきたいと思います。



〈10月4日「観月の夕」に向けて〉

7月15日に、公民館、自治会連合会、「観月の夕」実行委員会、そして地域や・保護者の皆様に来ていただきて、6年生が紙すき体験を行いました。会長様より、「今回のテーマは『未来へ響け！ あそづの声』です。みんなの声が大事なので、ぜひ行燈にのせてください」というお話がありました。6年生は、興味津々に活動し、和紙のよさを肌で感じながら意欲的に作業を行っていました。保護者や地域の皆様も、子供たちのために事前に体験してくださって、その温かさが下の写真の様子からもしっかりと伝わってきました。子供たちの声が行燈にのって飾られるのを楽しみにしています。



〈夏休み中、先生方も学校内外でたくさんの研修に参加してきました〉



足羽中校区（足羽中・清明小・麻生津小）夏季研修会…福井大学教職大学院の小林真由美先生をお迎えして

夏休み前から始まっている学校の前の歩道橋の補修工事も、だいぶ終わりに近づいてきています。昨年は歩道橋の階段を、今年はてっぺんの通りを、きれいにしてくださっています。まだ足場が組まれていますが、9月中には、撤去する予定とお聞きしています。車通りの多い道路を横断する大切な歩道橋です。子供たちも、毎朝、安心して通ってきています。きれいになって快適なようです。地域の皆様、本当にありがとうございます。



〈麻生津小学校ホームページ〉
毎週、麻生津ブログを更新しています。
どうぞご覧ください。
<http://www.fukui-city.ed.jp/asozu-e/>

